

復習問題

- 5.1 コモンキャリア、放送事業者、出版社の違いについて、言論の自由と、内容に対するコントロールの視点から簡単に説明しなさい。
- 5.2 子どもたちが WWW 上の不適切な情報にアクセスすることを制限するために、親が利用できることのできる二つの手段を記しなさい。
- 5.3 通信品位法の検閲規定が修正第一条違反と判示された理由の一つは何か。
- 5.4 フィルタリングソフトが、遮断しようとしていたわけではないが遮断してしまったウェブサイトを 2 つ(または 2 種)とはどのようなものか。
- 5.5 情報へのアクセスをコントロールするために、いくつかの国の政府が用いた 2 つの手法を挙げなさい。
- 5.6 100 年以上前の、匿名出版の例を挙げなさい。
- 5.7 人々がスパムに反対する理由を 2 つ挙げなさい。

一般問題

- 5.8 インターネットを利用可能なあらゆるサービスの中で、以下のものと類似したサービスや特徴として考えられるものを記しなさい。
 - (a)雑誌出版社
 - (b)図書館
 - (c)郵便局
 - (d)電話会社
 - (e)テレビ放送局
 - (f)あるクラブに事務所を賃貸している地主
- 5.9 ある画像が法的にわいせつかどうかを決定する際のコミュニティ基準の観念を、インターネットはどのように変化させたのか。コミュニティ基準はインターネット上でも維持することは可能だと考えるか。なぜ可能なのか、あるいはなぜ不可能なのか、説明しなさい。
- 5.10 多くの都市では、歩道に設置してあるコイン式の機械で、普通の新聞も性的指向性を持った出版物もともに購入することができる。大学のキャンパスにもしばしば新聞販売機が設置されているが、性的指向性を持った出版物用の機械はない。大学は、性的

指向性を有するウェブサイトへキャンパス内のコンピュータからアクセスすることを制限すべきだろうか。コイン式の機械とウェブサイトについて、大学の決定に影響するかもしれない類似点と相違点をいくつかリストアップしなさい。

5.11 小学校にとって、インターネットへのアクセスやフィルタリングソフトの利用について、いかなるポリシーが適切だと考えるか。高校ではどうか。その理由も挙げなさい。

5.12 子どもインターネット保護法(CIPA:5.2.3)は、"誠実な研究"を行っている人々が図書館でフィルタリングソフトを外してもらうことができるようにしている。この規定についての問題点はどのようなものか。これは CIPA のフィルタリングの義務づけの例外として十分か。

5.13 カナダとフランスには、国内に流入してくる合衆国の映画やテレビ番組、雑誌の数を規制する法律がある。その理由としては、文化保護が挙げられている。もう一の理由として、国内の映画会社、テレビ局、出版社を外国との競争から保護することが挙げられている。WWW がそのようなポリシーに影響を及ぼし、あるいはそのようなポリシーの影響を受けることについてどう考えるか。

5.14 4人の高校生が、あるウェブサイト上で、爆弾の作り方を発見した。彼らは爆弾を作り、学校の玄関でそれを爆発させた。そのうちの1人は18才であったが、その爆弾がどれほど強力なものかわからず、誰も傷つけるつもりはなかった、と言っていた。彼は、"これらは本当に危険なサイトである。.....ぼくはトラブルメーカーでも何でもない。僕は普通の子どもなんだ"[64]とコメントした。このコメントを評価しなさい。

5.15 クリスマスが近づき、多くのウェブサイトや宗教的議論グループがクリスマスの宗教的意義や Jesus Christ の宗教上の重要性について、大量の情報を提供しているとしよう。大半のアメリカ人にとっては、これは許容できるというにとどまらず、価値があり、積極的なものである。しかし、キリスト教以外の人や無神論者にとっては不愉快

なものかもしれないし、子どもには見せたくないと思うかもしれない。そのような情報のインターネット上での入手可能性を規制する法律についてどう考えるか。インターネット上の宗教的情報や性的情報、性差別・人種差別的発言、爆弾製造情報に関する問題は、それぞれどのような点で類似、あるいは相違しているのか。

5.16 2001年、Yahoo!はオンラインストアを拡張して成人向け商品(エロティカ、セックスビデオ等、全て合法なもの)を扱うようになった。多くの利用者や広告主からの苦情があったので、Yahoo!はすぐにポリシーを覆し、成人向け商品の広告を削除した。Yahoo!の対応は、検閲圧力に節操なく屈したものだと思える者もあれば、顧客の嗜好に合理的に対応したものだと思える者もあった。それぞれの見解をもつ人々がなし得る主張を挙げなさい。どちらの側に同意するか。成人が成人向け娯楽品を購入する法的権利(購入しても逮捕されないという意味で消極的権利)は、それを販売しようとするウェブサイトに対して倫理的義務を課すのか。

5.17 世界中のアマチュア天文家は、衛星——商業衛星もスパイ衛星も——の位置確認や軌道観察を行い、その軌道をウェブ上に投稿している[65]。諜報機関職員の中には、もし敵やテロリストが合衆国のスパイ衛星がいつ頭上にあるかを知れば、彼らの活動を隠すことができるようになってしまう、と主張している。この問題点が提起する論点は何か。衛星軌道を投稿することは違法とされるべきか。両方の立場からの主張を組み立てなさい。どちらが強力か。それはなぜか。

5.18 Harris Interactive社が、Mail Abuse Prevention Systemが同社をスパマーリストに掲載したことに対する訴え(5.4.3)を取り下げなかったとしよう。両当事者の側の主張を組み立てなさい。どちらが勝つべきだと考えるか。それはなぜか。

5.19 テレビの内容に対する大幅な政府の規制を正当化する際に用いられる論拠の一つは、テレビが"侵入的"だということである。家の中に入り込んできて、子どもが見ないようにしておくことは困難なのである。この論拠は、修正第一条の主張を退けうるほどに十分強力なものだと考えるか。その理由は何か。また、この論拠は、インターネットとテレビとでは、どちらの方により妥当するか。その理由は何か。

5.20 ポルノを含むウェブサイトに対し、そのサイトを訪れようとする全ての者から、おそらくはクレジットカード番号やその他の成人を証明する番号を求めることによって、年齢(最低 17 才)の証明を受けることを義務づける法案が連邦議会に提出された。このような法律の賛成論、反対論の論拠について議論しなさい。

5.21 ある妊娠中絶反対派のウェブサイトは、中絶手術を行っている医師や、中絶の権利を支持する裁判官や政治家のリストを掲載している。中には、住所や社会保障番号、その他の個人情報まで含まれている者もいた。リスト上の医師が傷つけられたり殺害された場合には、その結果まで報告している。暴力行為を引き起こしているということでサイトを閉鎖するよう求めた訴訟は、敗訴に終わっている。控訴裁判所でも論争となったが、合法的言論の自由の行使であると認定された。ここでの非常に重要な問題は、脅迫と保護された言論との間に明確な線が引けるかどうかである。これはインターネット以前に遡る困難な論点である。これが印刷物や郵送のニュースレターではなくウェブサイトであるという事実は何か相違をもたらすか。この事件は、インターネットがもたらすインパクトに関連するどのような論点を提起するか。

5.22 あなたは、オンラインでデート情報提供サービスを立ち上げようとしていると仮定しよう。会員は、自己のプロフィールや興味のある事柄を投稿し、他の会員は返事を出すことができる。会員が仮名を使うことについて、賛成、反対それぞれの立場から議論してみなさい。あなたの地区の伝統的なデート情報提供サービスや、個人宛の広告を行う業者などは、個人を特定するのに実名を使っているか。それとも数字や記号などのコードを使っているか。もし仮名の利用について、デート情報提供サービスについては許容できるが、その他の場合は許容できないと考えるなら、許容できる場合とできない場合とを区別するルールや特徴を明らかにしてみなさい。

5.23 自由かつ民主的な政治システムにおいては、投票の秘密が重要な役割を果たしている。そこで、次の命題について、賛成、反対それぞれの立場から、どのような主張が可能かについて考えてみなさい。命題：投票は匿名で行える以上、WWW 上で、候補者についての議論もまた自由に匿名で行うこともできるべきである。

5.24 あなたは、反スパム法を起草していると仮定しよう。この文脈でスパムの定義としてどのようなものが合理的だと考えるか。メッセージの数と、そのメッセージが希望されたものかどうかを法律が決定する方法とを示しなさい。

5.25 本問を解答するにあたっては、あなたの答えが下記の例にどう適用されるかを考えなさい。

ある人が、"Babes on the Web"というウェブサイトを開設し、女性が自らの写真を掲載している個人的ページや仕事上のページへのリンクを張っていた。"Babes on the Web"では、その女性の見た目のランクづけがなされていた。Microsoft の Seattle Sidewalk という娯楽サイトには、地元のイベントのチケットを購入できる Ticketmaster 内のウェブページへのリンクが張られていた。このリンクは、Ticketmaster のホームページを迂回するようになっていた(深層リンク(deep linking)と呼ばれる行為)。Ticketmaster は、Microsoft はリンクを張る許諾を得る必要があったとして訴訟を提起した。ウェブサイトの中には、違法な薬物を販売するサイトや、ソフトウェアや音楽が著作権者の許諾なくコピーできるようになっているサイトへのリンクを張っているところがある。

a)ある人が、自己のウェブサイト上に、他のサイトとそのURLを(リンクという形ではなく、プレーンテキストで)記述していたとしよう。これは法律によって規制されるべきではない、言論の自由の行使といえるか。

b)そのURLが他のサイトへクリックで移動できるものだったとしよう。その場合、リンクをウェブサイト上におくことが言論の自由として保護されるかどうかに影響を及ぼすべきか。

5.26 免税措置を受けている多くの慈善団体のウェブサイトには、自ら行えば違法な行為である政治的ロビー活動を行っている団体のサイトへリンクを張っている。たとえば、あるシンクタンクは、Handgun Control 社と National Rifle Association へのリンクを張っており、訪問者が関連調査情報を見つけることができるようになっている。内国歳入庁(Internal Revenue Service; IRS)は、そのようなリンクが免税措置に関する規則に違反しないかどうか調査を行う旨告知した。いかなる結論が下されるべきだと考え

るか。IRS の決定としては様々なものが考えられるが、それは WWW にいかなる影響を及ぼすか。

研究課題

ここでの練習問題には調査や活動が必要となる。

5.27 あなたの大学が、学内のコンピュータシステムからあるウェブサイトへのアクセスを制限しているかどうかを調査しなさい。制限されているのであれば、どのようなポリシーで制限しているのか。またそのポリシーについてどう考えるか？

5.28 連邦最高裁判所が、子どもオンライン保護法や子どもインターネット保護法(5.2.3)の合憲性に判断を下しているかどうかを調査しなさい。もし下されているなら、結果を要約しなさい。もしまだであれば、どういう判断を下すべきだろうか、またそれはなぜか。

5.29 ある種の"憎悪表現"を大量に含むようなウェブサイトをいくつかみつけなさい。それはどういった類の情報か。それは修正第一条によって保護されているか。そのような言論を WWW 上で流通させることは、従来のメディア上で行うのとは異なっているか。見つけたサイトの一つをピックアップし、それと反対の見解を表明しているサイトを見つけないさい。見つけたサイトがどのようなものかを簡潔に述べなさい。

5.30 公立図書館の司書にインタビューし、人々がインターネットへのアクセスの間違った使い方をすることによって図書館がどういう問題を抱えているかを調査しなさい。またその問題を図書館がどう取り扱っているのかも調査しなさい。フィルターを使っていたか。

5.31 あなたが受け取った電子メールについて、1週間の記録を取りなさい。それぞれのメッセージについて、それが営利的なものか、あるいはある種のスパムかどうか、またそれは自ら希望したものかどうかを、スパムかどうかの判断基準とともに記しなさい。

クラス演習

ここでの課題は授業中の議論のためのものであり、少人数のグループが事前に用意した短いプレゼンテーションとともに行われることが想定されている。

5.32 WWW やコンピュータゲームの暴力表現は、学校での銃撃事件にどの程度責任があるか。修正第一条に違反しない範囲でどのように対応すべきか。

5.33 背景(Background) : 公立大学のコンピュータシステム管理者が、そのシステムへのウェブアクセス数が急激に増加したのに気づいた。ある学生のホームページに、1日に13000ものアクセスがあったのである。管理者は、その学生のホームページに性的指向性を有する画像がいくつか含まれていることを発見した。その画像は、合法に入手可能な多くの雑誌に載っているのと似たようなものであった。管理者はその学生に対し、その画像を削除するよう指示した。

苦情申立(The grievance cases) : 削除される前にその画像にアクセスしてしまったある女子学生は、大学に対しセクシュアルハラスメントであるとの苦情を提出した。そのホームページを開設していた学生は、大学に対し、修正第一条違反であるとの苦情を提出した。

聴聞(The hearings) : クラスを4つに分割する : 女子学生、男子学生、大学(大学については、対女子学生、対男子学生とで別個のグループを当てます)をそれぞれ代表するグループである。各グループの代表者が主張を提示する。自由に議論した後、各苦情についてクラスで投票してみよう。

5.34 ISP は、全利用者の真の身元情報を記録しておくことを、法律によって義務づけられるべきか(インターネット上での真の匿名性は禁止されるべきか)。

5.35 個人や企業、政府機関が、オンラインでメッセージを発信したものの実名を得るための召喚令状を裁判所に求めるときに、どのような規則、基準が適用されるべきか。

5.36 スпамはある種の不法侵入とみなされるべきだろうか。レストランは公衆に開かれているが、騒々しい人々を閉め出すことができる。そこから類推するならば、ISP の加入者に対するスパム送信についていかなる規則や法律が示唆されるか。前者の場合は後者と比べて、修正第一条がより強く関係してくるのだろうか。

5.37 次の、1930年代から1950年代にかけての著名なラジオ(後にテレビ)ジャーナリスト、**Edward R. Murrow** からの引用について検討しよう。これに同意するか。またそれはなぜか。

コミュニケーションシステムは、全くもって中立的である。良心があるわけではなく、節操も道徳も持たない。あるのは歴史だけである。卑猥な言葉もインスピレーションも、簡単に放送できてしまうという点で同じである。真実を語ることもできるが、同様に虚偽も語ることもできてしまう。要するに、それは、それを使っている人以上のものでもなければそれ以下でもないのである。